

女川町まちづくり ワーキンググループ 瓦版

第2号

女川町まちづくりワーキンググループの内容をお知らせします

第2回女川町まちづくりワーキンググループが 開催されました！

女川町の将来像について自由に意見交換を行った第1回ワーキンググループに続いて、第2回ワーキンググループ（以下、「WG」）が開催され、WGでの今後の検討テーマについて議論しました。また今回は、検討に差し当たり、須田善明町長より復興に関する町の考えが説明されました。

時間の制約がある中で、活発な議論がなされ、貴重な意見がたくさん出されました。開催概要は以下のとおりです。



第2回 ワーキンググループ 開催概要

テーマ：検討テーマを決めグループ分けをする

- 日時：平成 24 年 7 月 19 日(木)
18:45～20:45
- 場所：女川町総合体育館 2階剣道場
- 参加者：38名

当日のプログラム

- 1 復興関連情報の提供
(町長より)
- 2 説明
- 3 グループワーク
- 4 まとめ

第2回WGでは、まず、復興関連情報の提供がありました。第1回WGに参加された方から「もっと町の考えを聞きたい」といったご意見があったため、町の考えを須田町長から直接お話しをしていただきました。

グループワークでは、第1回WGで考えた内容を基にして、「今後このWGで私が検討したいこと」について意見を出していただきました。

最後に、各グループで出された意見を発表し、今後の検討テーマを整理しました。その結果、大きく5つのテーマに分けることができました。復興に必要な、商業・観光分野に対する興味が高いことがわかりました。

今回のWGで決定した検討テーマおよび各テーブルから出された具体的な意見を裏面にまとめています。

女川町役場 復興推進課

〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原 316 電話:0225-54-3131(代表)

第2回 ワーキンググループ 結果概要

グループワークの結果発表

各グループで話された内容をテーマ毎に整理すると、以下のようになりました。

・ 防災・安全 ・

- 継続的な防災訓練
- 誰もが歩きやすい道
- 冬に凍結しない道
- 自転車の走りやすい道
- 三幹道をつなぐ道
- 分断されないコミュニティ形成

・ 公共交通 ・

- 高齢者に配慮した運行計画
- 高台における公共交通
- バリアフリー化の徹底

・ 街並み ・

- 海（自然）を活かした景観
- 人が来たくなるまち
- 子供達が戻りたいと思うまち
- 電柱・電線の地中化
- 個性あるまち
- 女川らしい景観
- 統一のカラー（景観）

・ 観光 ・

- 駐車場の充実
- 観光のための公共施設
- 祭り（港まつり）
- 遊びの施設との融合
- 参加型・体験型の観光
- 女川の魅力の発信
- 人が集まる場
- 集客のための公共交通の充実
- 雪が少ないことを利用したスポーツ観光
- 一日遊べるまち

・ 育児・教育 ・

- 質の高い教育
- 小中学校統廃合
- 各種教育の集約
- 郷土愛を育む
- 将来に結び付く教育
- 子どもの居場所づくり
- 図書館の整備
- 少子化対策
- 育児費用の補助

・ 産業 ・

- 新しい産業
- 企業誘致もふまえた仕事の充実
- 市場の本格稼働
- 新規漁業者の参入
- 観光スポーツ
- 商店街の活性化
- 産業と原発問題
- 観光産業
- 海を活かした商業
- 働く場の創出

・ 公共施設 ・

- 他地域には無いオンリーワンの施設
- 誰もが入りやすい施設
- 野球場等、スポーツ施設の充実
- 施設の相互利用
- 民間の力を活用した施設
- 情報共有やコミュニケーションを図ることのできる場

第2回 ワーキンググループのまとめ

話し合いの結果から、検討テーマを以下の5つに分類しました。

検討テーマ

公共施設、街並みについて

ゆぽっぽ、運動施設、コミュニケーション施設など公共施設について検討します。また、景観や街並みに対する意見もまとめていきます。防災の観点を加味しながら検討を進めます。

検討テーマ

商業・観光について（2グループ）

女川の商業や観光に関するテーマについて検討を進めます。女川の魅力発信や参加型観光への取り組み、モール等の複合施設などについて検討を進めます。

検討テーマ

漁業・水産加工について

女川的主力産業である漁業や加工産業について検討を進めるグループです。

検討テーマ

教育・育児について

小中一貫校に関する検討、郷土愛、将来に結びつく教育、子供の居場所づくりなどについて検討します。

検討テーマ

福祉、コミュニティ、交通について

元気な老人がいるまち、高台の住宅地とまちなかのアクセスなどを考えるグループです。

第3回以降のワーキンググループは、上記5つのテーマに基づいて、グループ毎に検討をしていきます。